

唐木指物の修理

～思い出の品を新品へ～



こちらの机は、8脚の紫檀材の座敷机です。指物ですので組み合っている留めの部分に隙間がでてあります。这样的事情是特别珍稀的，因为木材本身的水分会蒸发，导致木材收缩，从而引起这种情况。这样的情况下，机底的横档已经没有了，横档在防止桌面反翘方面起着重要作用，同时也能保持机子的强度。这样的情况需要新制作部件的必要性。

それではまずは組み合っている部材をばらしていきます。中にはばらさず組んでいる状態のままで修理にかかる品もありますが、このような部材が欠けている物は組みなおさないと部材を差し込めません。座敷机の場合、まずは大きく分けると天板と脚の部分にはすればれます。

写真①

脚の組の部分。脚と幕板で形成されております。

写真②

天板。この状態ではまだ桟を組み込まない状態です。天板は、框・中天板・裏桟によって形成されております。



写真③

脚の組の部分の拡大写真
この机は抜き入りという形で幕板が桟のようですので、まだ外しやすい形です。少し分かり難いですが、脚にホゾが彫ってありこの凹凸が接着を増すのと、強度を増します。昔は現代のように、化学性の接着剤などが無くニカワを接着剤として使っていました。

写真④

天板の組。框を外すことによってついにすべてが外れました。これで新たに作った桟を差し込むことができます。小さな矢の形をしている板は框に差し込むチギリ木でそのチギリ木には先ほどの脚のホゾが差し込まれる構造になっております。ですのでこの天板を組むのは難しく、框・チギリ木・中天板を同時に組み込まなければいけません。

このようにすべてを外した後、接着剤を削り、塗装を剥がし、磨きをかけ、組み込み、着色をいれ、漆をかけてできあがります。

唐木は非常に固く、頑丈です。しかしその分・磨き・組み込みなど非常に手間のかかる作業になります。その手間をかけた座敷机は、職人の魂が新たに入りきれない輝きを出し大きな存在感を座敷にもたらすでしょう。